いたばし防災＋マップ　下赤塚地区【水害編(集中豪雨版)】

板橋区 地域防災支援課　令和8年8月

・このマップは、「令和7年板橋区地区別防災マニュアルワークショップ」において、下赤塚地区の皆様と板橋区が共同で作成したものです。
・水害に備えて、災害が起きたときの危険を具体的に考えましょう。そして、防災上の資源を使って、どのように対応するか確認しましょう。

下赤塚地区　地域の防災ルール

- (要配慮者対応として)近隣同士で声をかけあおう／困ったら本人から「助けて」と発信しよう
- 日頃の地域活動を通して、困ったら「助けて」と言える関係性づくりを進めよう

水害発生時の危険箇所の例


アンダーパス


局所的に低い場所

地域の防災資源の例



出典)どこナビいたばし　https://itabashi.machi-info.jp/?map_id=100029&li=100209&z=16&lt=35.751673216538958&lg=139.70738650170662
土のうステーション



避難所

いたばし防災＋アプリ を活用しましょう！

家族の安否情報、避難情報、ライフラインの被害状況がこれひとつで分かります。
※個人情報の登録は不要です。

Android用　アプリのダウンロードはこちら　iOS用

避難の流れ

警戒レベル	気象庁等の情報	取るべき行動
5	特別警報（河川氾濫・大雨・土砂災害・高潮）	命の危険 直ちに安全確保
	＜警戒レベル4までに危険な場所から必ず避難！＞	
4	危険警報	危険な場所から全員避難
3	警報	避難に時間を要する人は早めに避難
2	注意報	避難行動を確認
1	早期注意情報	災害への心構えを高める

出典：気象庁「新たな防災気象情報について（令和8年～）」をもとに作成

凡　例

防災上の資源

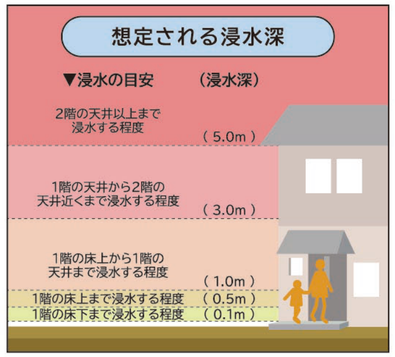
ほかにも見つけた地域の資源もマップに書き込みましょう。

- 避難所※
- 緊急医療救護所
- 防災行政無線放送塔
- 区役所・支所・区民事務所
- AED設置場所
- 地域センター
- 土のうステーション
- 区民集会所・ホール・ふれあい館

※土砂災害・中小河川氾濫の恐れがあるときに開設される避難所です。

このマップには、2026年(令和8年)3月時点で、区役所などの板橋区の施設にあるAEDが書いてあります。近くのAEDを探したいときは、財団法人日本救急医療財団の「全国AEDマップ」も確認してください。
一般財団法人 日本救急医療財団 財団全国AEDマップ
https://www.qqzaidanmap.jp/

水害発生時の危険



- 土砂災害(特別)警戒区域
  - 土砂災害特別警戒区域
  - 土砂災害警戒区域
- 中小河川の洪水による浸水が想定される範囲
- アンダーパス

■ 地盤(崩壊)・地形(浸水)
- 急傾斜地
- 高低差のある宅地(内水氾濫)

■ 道路(閉塞・通行支障)
- 狭あい道路
- 行き止まり路
- 坂道・クランク
- 見通しが悪い十字路
- 電柱・踏切
- 幹線道路(新大宮バイパス等)の渋滞
- 高速道路からの流入
- 地区内道路(松月院通り等)の渋滞

- 町会・自治会エリア
- 地区

避難所　※土砂災害・中小河川氾濫の恐れがあるときに開設される避難所です。	
下赤塚地区	赤塚第三中学校
成増地区	成増小学校
	赤塚第二中学校
徳丸地区	北野小学校
	紅梅小学校

日頃の備え　そなえができたらチェックを入れましょう

- □ 持ち出し袋を準備する
- □ ハザードマップで情報を集める
- □ 河川水位の調べ方を確認する
- □ 災害が起きたときの家族への連絡方法を確認する
- □ 避難経路を確認する
- □ 最寄りの避難所を確認する

雨が降ったら　近くの避難先を記入しましょう

◇自宅が浸水想定区域または土砂災害(特別)警戒区域にある場合
⇒ 安全な場所に避難

避難所　区が開設する小・中学校など
※食料等は必ず持参

親戚・知人宅、ホテルなど

◇自宅が安全な場合　⇒ 在宅避難
自宅で安全に過ごせるように、日頃から食料や日用品を備蓄しましょう。

基となる浸水想定区域図
①石神井川及び白子川流域浸水予想区域図
②隅田川及び新河岸川流域浸水予想区域図

公表年月日
①令和元年5月23日
②令和3年3月30日

浸水想定作成主体
東京都

想定される降雨量(想定しうる最大規模の降雨)
時間最大雨量153mm、総雨量690mm

※実際の浸水状況(浸水する範囲及び深さ)とは異なる場合があります。

板橋区が所有するデータを用いていますが、データの精度の都合上、実際の位置と地図上の位置にずれがある可能性があります。

本マップに掲載した情報は、作成時点で区が保有するデータを使用しているため、地域の最新の状況と異なる場合があります。

この地図は、国土地理院発行の基盤地図情報(基本項目)を加工して作成しました。

測量法に基づく国土地理院長承認(使用)R 7JHs 947

0　50　100　200　300　m